

# 徳島県の地震

令和5(2023)年5月

## 目次

### 徳島県の地震活動

震央分布図・断面図	.....	1
概況	.....	1
徳島県で震度1以上を観測した地震の表	.....	2
震度分布図	.....	3

### 地震メモ

5月23日紀伊水道の地震について	.....	4
海岸付近で津波から身を守るために	.....	5~6

\* 「徳島県の地震」は月1回発行し、徳島県及びその周辺の地震活動状況をお知らせするとともに、適宜、社会的に関心の高い地震について解説を行っています。また、「地震メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。

\* 本資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

\* 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究会（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

\* この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図25000（行政界・海岸線）を使用しています。

\* 全国の地震火山活動概況、震源要素、震度データは気象庁ホームページに掲載しています。

<https://www.jma.go.jp/jma/menu/bunyaeg.html>

\* 大阪管区気象台管内（近畿、中国、四国地方）の地震活動は、大阪管区気象台ホームページに掲載の「管内地震活動図」、「週間地震概況」をご覧ください。

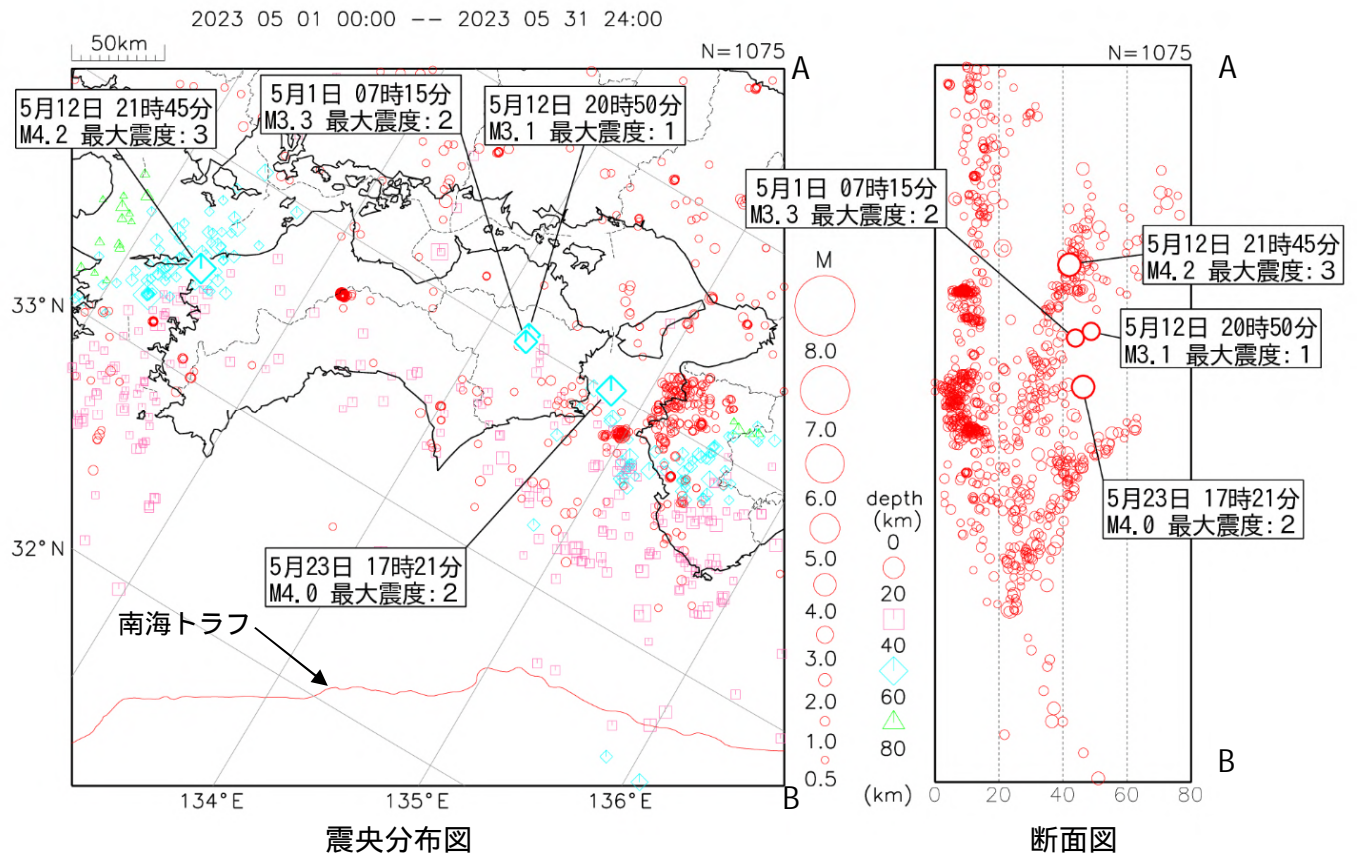
<https://www.data.jma.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html>

徳島地方気象台

[\(https://www.data.jma.go.jp/tokushima/\)](https://www.data.jma.go.jp/tokushima/)

# 徳島県の地震活動

## 震央分布図・断面図 2023年5月1日～2023年5月31日



- ・ M0.5以上の地震を表示。
- ・ 図に表示する震源は、凡例のとおりシンボルの大きさと色でマグニチュード(M)の大きさを、シンボルの形状と色で震源の深さ(depth)(震央分布図のみ)を区分。図に表示している地震の回数(N)は震央分布図と断面図の右上に表示。
- ・ 図中のコメントは、徳島県で震度1以上を観測した地震の発生日時・マグニチュード(M)・最大震度(徳島県内の最大震度とは限りません)。

## 概況

2023年5月に徳島県で震度1以上を観測した地震は4回でした(前月は3回)。

1日07時15分 徳島県北部の地震(深さ44km、M3.3)により、那賀町で震度2を観測したほか、徳島県内で震度1を観測しました。また、香川県・岡山県で震度1を観測しました。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生しました。

12日20時50分 徳島県北部の地震(深さ49km、M3.1)により、つるぎ町・那賀町で震度1を観測しました。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生しました。

12日21時45分 愛媛県南予の地震(深さ42km、M4.2)により、つるぎ町で震度1を観測しました。また、愛媛県久万高原町・大洲市で震度3を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度2～1を観測しました。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生しました。

23日17時21分 紀伊水道の地震(深さ46km、M4.0)により、小松島市・美馬市・阿南市・上勝町・牟岐町・那賀町・美波町で震度2を観測したほか、徳島県内で震度1を観測しました。また、近畿・中国・四国地方で震度2～1を観測しました。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生しました。

徳島県で震度 1 以上を観測した地震の表

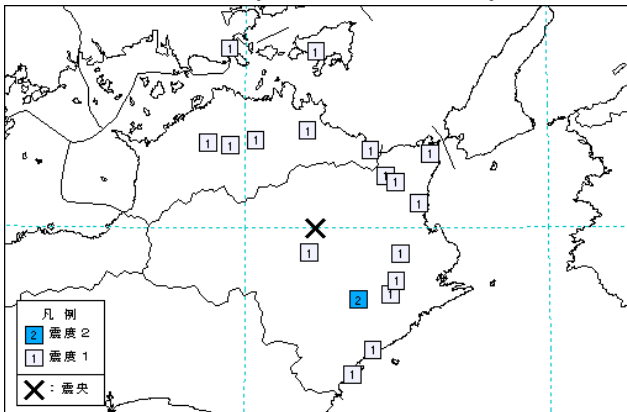
2023 年 5 月 1 日 ~ 2023 年 5 月 31 日

発震日 (年月日時分) 各地の震度 (徳島県内のみ掲載)	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2023 年 05 月 01 日 07 時 15 分 震度 2 : 那賀町上那賀 * 震度 1 : 徳島市大和町, 鳴門市鳴門町 *, 藍住町奥野 *, 板野町大寺 *, 美馬市木屋平 *, 勝浦町久国 *, 牟岐町中村 *, 那賀町和食 *, 那賀町延野 *, 海陽町大里 *	徳島県北部	33° 59.9' N	134° 13.8' E	44km	M3.3
2023 年 05 月 12 日 20 時 50 分 震度 1 : つるぎ町貞光 *, つるぎ町半田 *, 那賀町和食 *	徳島県北部	34° 02.0' N	134° 13.5' E	49km	M3.1
2023 年 05 月 12 日 21 時 45 分 震度 1 : つるぎ町貞光 *	愛媛県南予	33° 28.9' N	132° 24.1' E	42km	M4.2
2023 年 05 月 23 日 17 時 21 分 震度 2 : 小松島市横須町 *, 美馬市木屋平 *, 阿南市山口町 *, 阿南市羽ノ浦町 *, 上勝町旭 *, 牟岐町中村 *, 那賀町横石, 那賀町和食 *, 那賀町延野 *, 那賀町上那賀 *, 美波町西の地 *, 美波町奥河内 * 震度 1 : 徳島市大和町, 徳島市津田町 *, 徳島市新蔵町 *, 鳴門市撫養町, 鳴門市鳴門町 *, 佐那河内村下 *, 石井町高川原 *, 神山町神領 *, 吉野川市鴨島町, 吉野川市川島町 *, 美馬市穴吹ふれスポ公園, つるぎ町貞光 *, 阿波市市場町 *, 阿波市阿波町 *, 阿南市富岡町, 阿南市那賀川町 *, 勝浦町久国 *, 那賀町木頭和無田 *, 那賀町木沢 *, 海陽町大里 *	紀伊水道	34° 00.4' N	134° 48.1' E	46km	M4.0

- ・ 震源要素 (緯度・経度・深さ・マグニチュード) は暫定値。
- ・ 地点名の後に \* がついている地点は、気象庁以外の観測点。

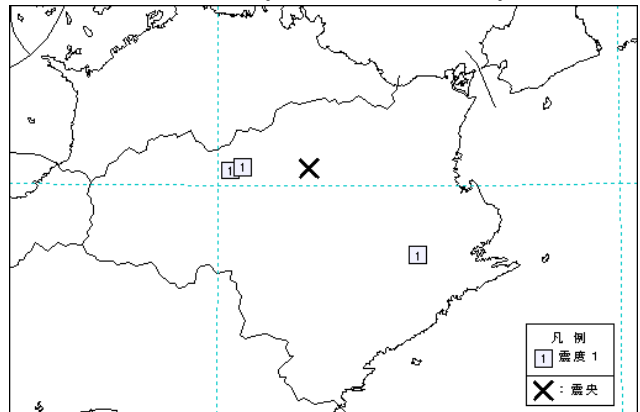
震度分布図（×印は震央）

5月1日07時15分  
徳島県北部の地震（深さ44km、M3.3）



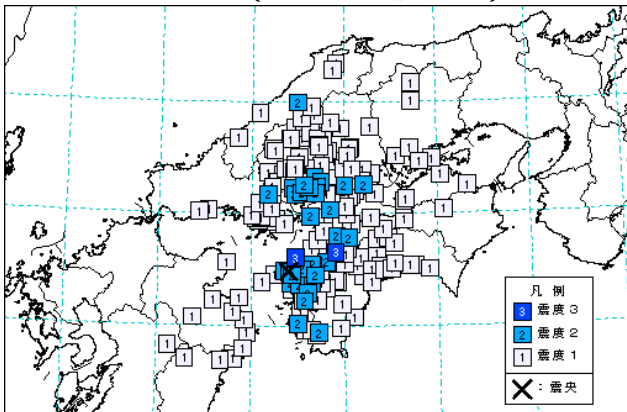
観測点別震度分布図

5月12日20時50分  
徳島県北部の地震（深さ49km、M3.1）



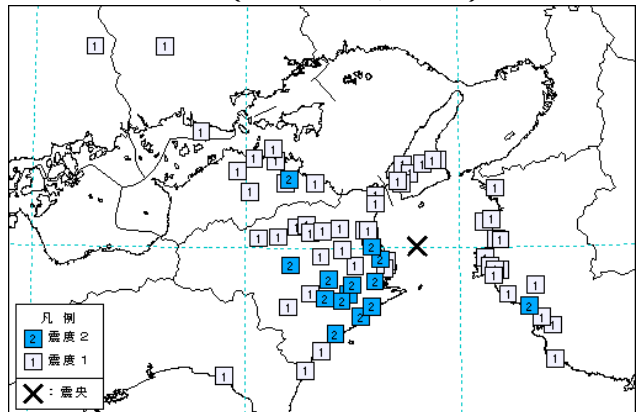
観測点別震度分布図

5月12日21時45分  
愛媛県南予の地震（深さ42km、M4.2）



観測点別震度分布図

5月23日17時21分  
紀伊水道の地震（深さ46km、M4.0）

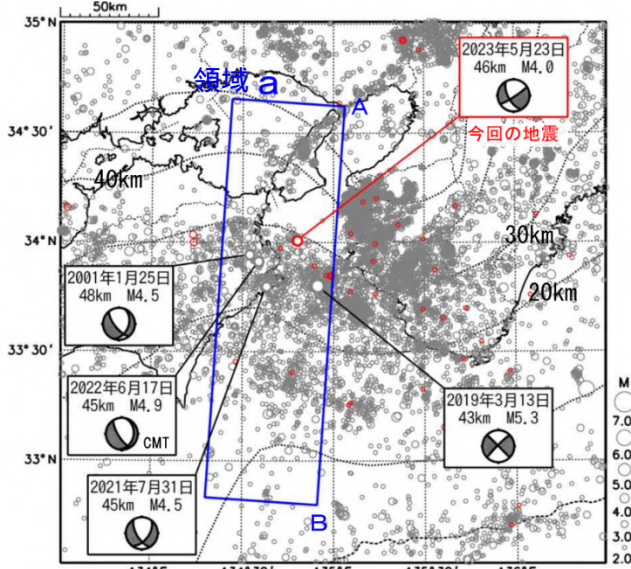


観測点別震度分布図

# 【地震メモ1】5月23日紀伊水道の地震について

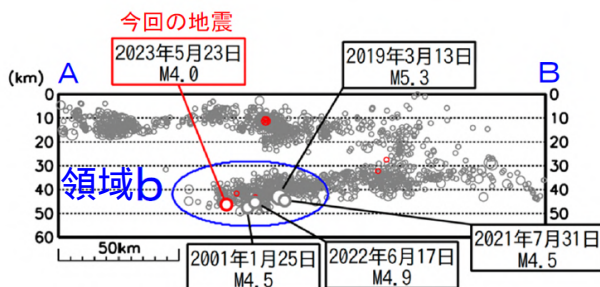
## 震央分布図

(1997年10月1日~2023年5月31日、  
深さ0~60km、M 2.0)  
2023年5月1日以降の地震を赤く表示

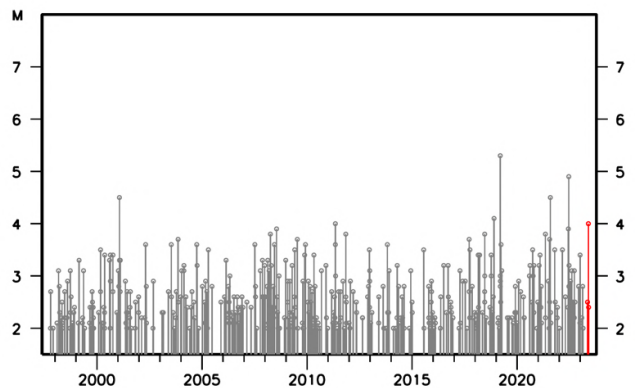


黒の点線は、Hirose et al. (2008)、Baba et al. (2002) によるフィリピン海プレート上面のおおよその深さを示す。

## 領域a内の断面図 (A - B 投影)



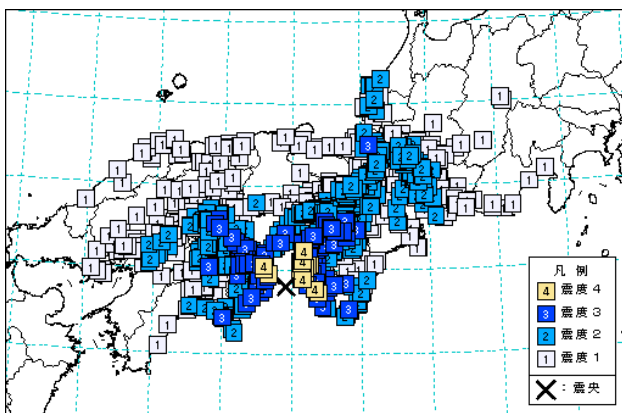
## 領域b内の地震活動経過図



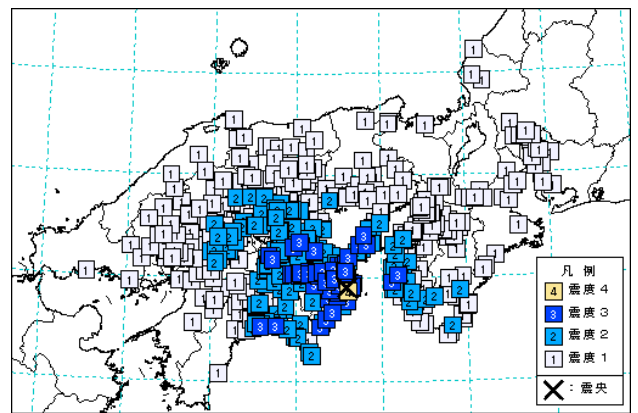
2023年5月23日17時21分に紀伊水道の深さ46kmでM4.0の地震(最大震度2)が発生しました。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生しました。発震機構は西北西-東南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型でした。

1997年10月以降の活動を見ますと、今回の地震の震源付近(領域a内の領域b)ではM4.0以上の地震が時々発生しています。そのうち2019年3月13日にはM5.3の地震が発生し、徳島市、小松島市、阿南市で震度4を観測したほか、徳島県内で震度3~1を観測しました。

領域bでは他に、2022年6月17日にM4.9の地震が発生し、阿南市で震度4を観測したほか、徳島県内で震度3~2を観測しています。



2019年3月13日紀伊水道の地震 (深さ43km、M5.3)

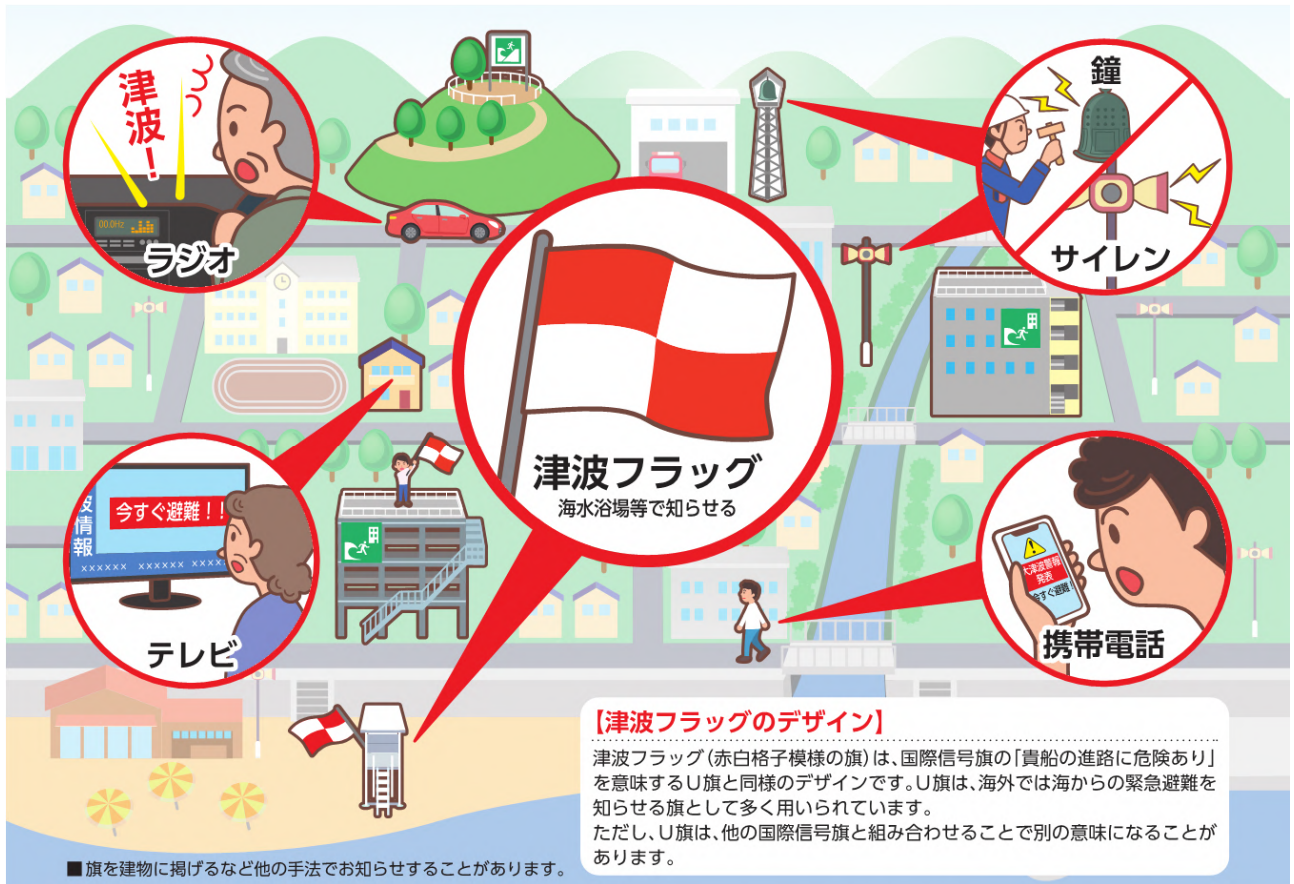


2022年6月17日徳島県南部の地震 (深さ45km、M4.9)

## 【地震メモ2】海岸付近で津波から身を守るために

今年は7月に県内で海水浴場が開設される予定です。これから海に行かれた際は、津波から身を守るため、海岸近くで大きな揺れや津波警報・注意報を見聞きしたときは海岸から離れ、より安全な高い場所に避難しましょう。

海岸付近で地震の揺れを感じたり津波警報等の伝達には防災無線やサイレン・鐘などがありますが、東日本大震災では波音や風で聞き取りにくかったり、耳の不自由な方には伝わらないことがありました。令和2年6月から海水浴場等で「津波フラッグ」による視覚的伝達が行われています。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始しましょう。



# 知っておこう! 津波からにげるために

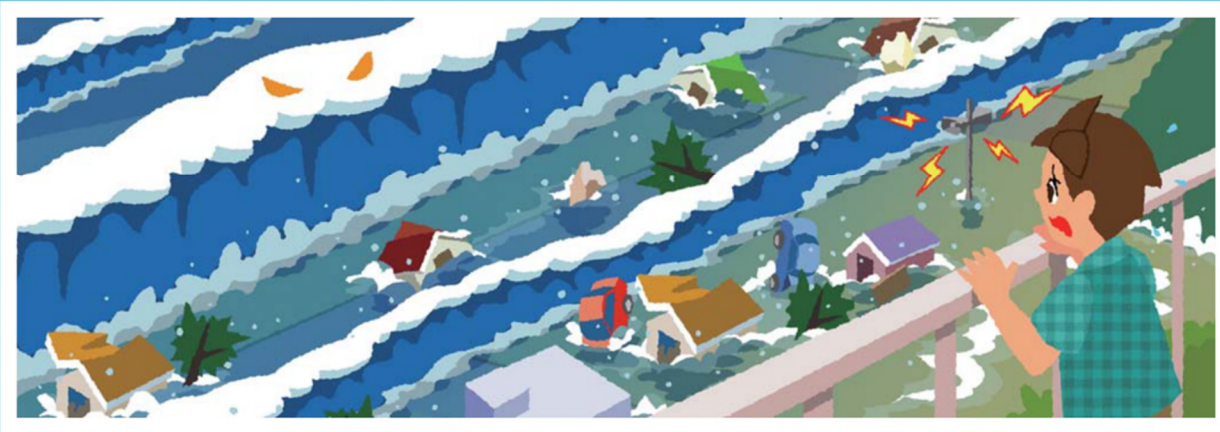


## 「より高いところ」を目指してにげる

津波はひくい場所をおそいます。海や川からはなれ、高いところへにげましょう。



津波はくりかえしおそってくるので、津波警報が出ている間は避難をつづける  
はじめの波より後に来る波が大きいこともあります。



ゆれを感じていなくても、津波警報を見たり聞いたりしたら急いでにげる  
ゆれが小さくても大きな津波が起こることもあります。

